小5理科 花から実へ（受粉） No.3

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

なまえ

出席番号　　必要な人は書く

問1 花が咲いたあとに、めしべのもとがふくらんで実ができるために、必ず行われなければならないことは何ですか。

○ 花びらがふえること　○ 葉が落ちること　○ 茎がのびること　○ 受粉

問2 ヘチマの花のうち、めしべがあるのはどの花ですか。

○ めばな　○ どちらの花にもある　○ つぼみ　○ おばな

問3 花のつくりの中で、先にあるふくろからたくさんの花粉を出す部分はどれですか。

○ 花びら　○ めしべ　○ おしべ　○ がく

問4 花のつくりの一つで、その先には花粉という粉のようなものがついている部分を何といいますか。

○ めしべ　○ 花びら　○ がく　○ おしべ

問5 接眼レンズの倍率が10倍で、対物レンズの倍率が40倍のとき、顕微鏡の全体の倍率は何倍になりますか。

○ 30倍　○ 400倍　○ 50倍　○ 4倍

問6 ヘチマなどの植物で、めばなにはどのような特徴がありますか。

○ おしべだけがある。　○ たねから最初に育つ。
○ 花びらがない。　○ めしべがある。

問7 花の咲く植物が生命をつなぐとき、種子ができてから次の新しい種子ができるまでの正しい順序はどれですか。

○ 「実の中に新しい種子ができる」→「花が咲いて受粉する」→「発芽して成長する」
○ 「花が咲いて受粉する」→「発芽して成長する」→「実の中に新しい種子ができる」
○ 「発芽して成長する」→「花が咲いて受粉する」→「実の中に新しい種子ができる」
○ 「発芽して成長する」→「実の中に新しい種子ができる」→「花が咲いて受粉する」

問8 おばなという花には、どのような特徴がありますか。

○ おしべだけがあって、めしべがない。　○ めしべだけがあって、おしべがない。
○ おしべとめしべの両方がある。　○ おしべもめしべもどちらもない。

問9 花のつくりの一つで、その先に花粉がつくと、やがて実ができ、その中に種子ができる部分を何といいますか。

○ がく　○ おしべ　○ 花びら　○ めしべ

問10 アサガオやアブラナ、ユリなどの植物に共通する、花づくりの特徴はどれですか。

○ 1つの花にめしべとおしべが両方そろっていること。
○ 1つの花にはめしべとおしべのどちらか片方しかないこと。
○ 1つの花にはめしべもおしべも存在しないこと。
○ 花びらとがくだけでできていて、めしべもおしべもないこと。

問11 花が咲いたあとに、実ができるために必要なことは何ですか。

○ 茎がどんどん太くなること　○ 葉の枚数がたくさん増えること
○ めしべの先に花粉がつくこと　○ 根が地面に深くのびること

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう